



平成 20 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社オストジャパングループ
(コード番号 2757 : 札証アンビシヤス)
本社所在地 札幌市厚別区厚別南五丁目 1 番 7 号
代 表 者 代表取締役社長 村 上 睦
問 合 せ 先 常務取締役 山 田 耕 資
電 話 番 号 011-896-5533 (代表)
(URL <http://www.ost-japan.com/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 19 年 12 月 26 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 20 年 6 月期の連結および個別の通期業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 6 月期連結業績予想 (平成 19 年 7 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日まで)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,873	97	68	35
今回修正予想 (B)	4,985	81	62	3
増減額 (B-A)	112	△16	△6	△32
増減率 (%)	2.3	△16.5	△8.8	△91.4
前期実績 (平成 19 年 6 月期)	4,828	140	140	45

2. 平成 20 年 6 月期個別業績予想 (平成 19 年 7 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日まで)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	248	36	30	14
今回修正予想 (B)	248	42	38	△80
増減額 (B-A)	—	6	8	—
増減率 (%)	—	16.7	26.7	—
前期実績 (平成 19 年 6 月期)	248	56	61	29

3. 修正の理由

(1) 連結業績

連結子会社北日本化学株式会社が担う研究開発事業のうちサーモンオバリーペプチド事業部門は下期より製造工程の改良が奏功し生産量が拡大したことから業績に寄与いたしました。下期に重点的に売上を見込んでおりました受託研究および化粧品の各事業部門において、営業案件の規模が当初想定より縮小したこと、また成約が次期にずれ込む案件が出たこと等もあり同社全社ベースでは通期売上計画未達成となる見込みであることから利益についても影響が生じることとなります。

また、本日付で開示しております「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、同社の化



粧品の売上債権の一部について貸倒引当金繰入額として 13,946 千円を特別損失に計上することといたしましたので当期純利益に影響が生じることとなります。

さらに、調剤薬局事業においては、処方箋単価の上昇傾向により売上高は堅調に推移いたしました。また、平成 20 年 4 月に実施された薬価基準の引き下げの影響に加えて、本事業のサービスレベルの向上およびマネジメント強化のため営業管理部門の増強を行ったこと等による費用負担増が生じております。

(2) 個別業績

内部統制強化に係るコンサルティング費用が計画より低額となった他、一般管理費の抑制を行いました。また、平成 20 年 7 月 16 日付で公表いたしましたとおり連結子会社である北日本化学株式会社の株式について子会社株式評価損 98,999 千円を計上したことにより当期純利益に影響が生じることとなります。なお、この子会社株式評価損は連結業績への影響はありません。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上